

## 平成 30 年度 第 6 回西区自治協議会会議録

日時：平成30年9月27日（木）午後 3:00～

会場：西区役所健康センター棟 1 階大会議室

### < 1 開会 >

### < 2 議事（1）部会の状況報告（通常部会・特別部会） >

（岩協会長）

ごくろうさまでございます。第1部会の状況報告でございます。概要は各部会長より簡潔に報告していただきたいと思います。それでは第1部会長からお願いいたします。

（大谷委員）

第1部会の会議概要をご報告いたします。所管分野は防犯、防災、自然環境、住環境等であります。9月11日、火曜日、午後3時から、第6回の会議を行いました。出席者は会議概要記載のとおりであります。議事については、防犯に関する講演会について、防災カードについて、平成31年の自治協議会提案事業について協議をいたしました。

防犯に関する講演会については、事務局並びに委託業者から当日の進行や役割分担について説明があり、最終的な確認を行いました。おかげさまで、大変有意義な講演会となりました。約200名の方からご参加をいただき、ご来場の方からご満足いただけたのではないかというふうに思っております。また多くの委員からご協力いただきましたこと、この場をお借りして、お礼を申し上げたいと思います。

防災カードについては、ワーキングチームリーダー及び事務局から構成案について説明があり、最終確認については、ワーキングチームで確認し、校了とすることにいたしました。10月15日以降に自治会を通して配布の予定であります。

平成31年度自治協議会提案事業について、事務局より検討スケジュール等の説明があり、平成31年度に自治協議会で取り組むべき課題について、意見交換を行いました。第1部会では、ここ数年防災や防犯に関する地域課題を取り上げてきましたが、住環境や生活環境の視点から、空き家問題について議論する必要があるのではということ、提案事業のテーマとして議論をいたしました。空き家問題はややもすると、権利関係の問題で深入りできない課題となっておりますが、黙示することのできない課題として捉えて、空き家の実態を把握して、どのような対策が取れるのかを議論することといたしました。

私個人としては、空き家の利活用の議論はすでに新潟市全体の空き家の個数が4万4千軒を超えている現状からして、人口減少社会における住環境や生活環境といった視点で議論できればと思っております。まずは本庁の住環境政策課から、空き家の現状、さらには空き家対策特別措置法等について説明を受けたいと思っております。

その他として、7月末現在の新潟市犯罪発生状況の資料配布と、佐潟クリーンアップ活動の潟普請の参加案内がありました。

今回の部会は 10 月 11 日、木曜日、午後 3 時から、特色ある区づくり予算、その他について協議をいたします。以上、第 1 部会の報告を終わります。

(岩協会長)

ありがとうございました。この前の防災講演会は、非常に好評を得ましたということです。それでは第 1 部会の部会長の報告について、ご意見、ご質問等がございませんでしょうか。

それではなければ、第 2 部会の副会長、お願いいたします。

(風間委員)

第 2 部会の副会長の風間です。郷部会長に代わりまして、ご報告いたします。第 6 回の第 2 部会ですが、9 月 10 日、月曜日、午後 4 時 30 分から午後 6 時 20 分まで開催いたしました。出席の委員は記載のとおりでございます。主な議事、内容でございますが、1 番目、健康寿命延伸に向けた講演会について。9 月 15 日、西新潟市民会館の 2 階の多目的ホールで、300 席ありますが、ほぼ満席の状態、スマートエイジングを演題に、有名な川島隆太先生から 90 分にわたりまして講演をいただきました。午後 1 時半という眠い時間ではございますが、全くそういうことはなくて、大変面白い話、またお話の持って行き方が大変上手で、特に印象に残りましたのは、皆さん、参加された方が全員実施されたと思いますけれども、1 から 120 までを何秒で声を出して数えることができるか。それによってその人の若さを判断するというようなことがありまして、大変面白いことだなと思って、その後何日かは続けておりますが、今やっております。何でも続けることが大事だということを、川島先生はよく言われましたので、これからまた折を見て続けたいと思っております。

それから 2 番目として、平成 31 年度の自治協議会の提案事業について、事務局からたたき台を含めまして、検討のスケジュール等の説明がありました。平成 31 年度に自治協議会で取り組む主な課題について、意見交換を行いました。次回も引き続き、地域の現状や課題について、委員の情報共有を行い、さらに検討を深めることといたしました。

当日の委員から出されました主な意見ですが、点線の枠の中に書かれております。どこの地域でもそうかもしれませんが、自治会長のなり手がいないとか、あるいは地域の担い手が不足している。そして、毎年、毎年、皆さん、私も含めて一つずつ年を取るわけですが、自治会の役員等の高齢化が深刻になっているという状況が現実にあります。それから子育ての環境について、支援も含めて情報が不足していると。それから数年前からいわれております支え合いのしくみづくりにおいて、気兼ねなく助けを求められるような仕組みも必要ではないかと。私も 20 年前から西区で民生委員をやっておりますけれども、西区の民生委員が皆さんでわかりやすく言うと、定員に当たる人数が 232 名、13 地区ありますが、一部やっぱり欠員がありまして、それを篠田市長さんが途中から提案されまして、協力委員という制度を導入しておりますけれども、そういう協力委員も活用しながら、民生委員活動

の補完をやっているという現状があります。そんなことが委員の皆さまから意見として提案されました。

3番、その他です。事務局より連絡がありました。第2回の教育ミーティングにおいて、開催日を来年の1月の自治協本会の日とし、意見交換、テーマ案に関するアンケートについて説明がありました。9月28日、明日が締め切りということでございます。

それから9月22日土曜日、23日の日曜日、先ほど大谷さんからもお話がありました佐潟クリーンアップ活動の「潟普請」のご案内がありました。それから次回部会の第7回の開催予定ですが、10月9日、午後3時30分からということでございます。以上でございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただいまの第2部会の報告について、何かご質問、ご意見等がございませんでしょうか。

確かに講演会は300人定員だったんですけども、相当入っていただきました。ありがとうございました。もう学力が失われていくということで、フランスではもうスマホを持たせない、学校でやらせないということは、行政ですかね。ルールで決めたということでございます。日本はそこまでいかないと思いますけど、相当子どもたちに悪い影響を与えているという事実は、結果としてはまだ検証されておられませんけれども、統計学的に見たら、皆さま方、ご理解していただいたかなと思っておりますので、これからどういう形になるか分かりませんが、少子化に向かっている。そういったところもこれからの地域課題、日本全国の問題になるのではないかなと考えております。

それと先ほど言いました、民生委員のなり手が少ない。風間さん、再来年ですよ。改選日ね。

(風間委員)

来年、12月です。

(岩協会長)

あれは3年ごとにいつもなり手が少ないということで問題になるんですよ。それで前回、第6期についても、民生委員の問題について、福祉総務課にお願いして、継続事業になっております。ところがこれは行政批判になると思うのですが、福祉総務課はすぐ逃げるんですよ。新潟市民生児童委員連絡協議会、主体はあそこだよと、そう言うんですが、結果的には福祉総務課のほうで事務局をやっているんですけどもね。今問題になっているのは、自治会長が協力してくれないと、民生委員が選べないというのが実態なんです。だから民生委員そのものの人たちも、交代する人たちが委員がいなくて駄目だということは、私のエリアでも話は聞いております。たぶんほかでもそういう現象は起きているんじゃないかなということですが、相対的に取り組んでいかないと、民生委員の仕事が、年々、下りてきておりますからね。活動ができなくなる。最終的に困るのはやっぱり生活困窮者と

か、何と言いますか、障がい者及び困っている人たちということでございますので、これらについても、次の第7期になりますかね。はっきりしたような形を出すようにして、問題として、地域課題として取り組んでいくのが一番大事じゃないかなと思っております。ということで、私からはちょっと補足ですけれども、そういったものがこれから地域課題として非常に大きいことなんだよということを、皆さん方と情報共有していきたいと思っております。

ご意見がなければ、第3部会の報告お願いいたします。

(塩川委員)

第3部会の会議概要を申し上げます。所管分野は農林水産業、商工業、交通等でございます。日時、会場、出席者等は記載のとおりでございます。主な議事といたしまして、西区の特産物・観光地カレンダー事業について。現在今入稿中でございます。例年どおり、西区アートフェスティバルで先行配布を行い、10月24日、水曜日より、区内の市公共施設等に配布用に設置をいたします。

内容は、学生の若い目線で切り取られた西区の写真で飾られた素敵なカレンダーとなりますので、完成をお楽しみいただきたいと思っております。

平成31年度自治協議会の提案事業について、西区自治協議会として、「教育」や「地域文化の振興」、「便利なまちづくり」といった視点も必要でないかとの意見がありました。これに関して次回に検討を深めていく議論を行いますので、よろしくお願いいたします。

その他、事務局より説明がありました。今ほど第1、第2部会よりありました9月22日及び23日に開催される佐潟クリーンアップ活動「潟普請」の案内がありました。

次回の開催日時は、平成30年10月12日、金曜日、午後2時より。議題は特色ある区づくり予算についてでございます。以上でございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただいまの第3部会の報告について、ご意見、ご質問等がございませんでしょうか。第3部会の所管するところは、農林水産、商工業となっております。もう皆さん方、新聞、メディア等でご承知だと思いますが、新潟三越、再来年の3月に閉店です。ということで、新潟市はバンバン空洞化になって、拠点化、まちなか活性化がどんどん薄れていくなと思っております。ただ西区においても、黒埼、内野のまちづくり、これも急がなければ、だんだん人口減少に伴って、商店街がなくなって、そして買い物難民ができたり、交通弱者が生まれたりすることが懸念されておりますので、一人一人がやはり問題意識を持って、自分の住んでいるまちは、自分の住んでいる所は、みんなが助け合って生活できるような、交通インフラとかそういう環境整備が、これも直近の課題になっていくのではないかなと思っております。困るのは生活弱者ということでございます。

それではご意見、質問がないようであれば、プロジェクトチーム1の報告をお願いいたします。

(佐野委員)

それではプロジェクトチーム1。所管分野は西区自治協議会広報紙の編集・発行について、会議概要をご報告いたします。第6回会議、開催日時、会場、出席者は記載のとおりでございます。主な議事は1つ目、第27号の構成です。こちらは今日机上に配布いたしましたこちらの広報紙をご覧ください。ずいぶん秋らしい仕上がりになっております。10月1日発行となっております。この校正を業者さん同席の下、行いました。

2つ目、第28号の企画。これは来年1月1日発行予定の広報紙、第28号の掲載内容について検討いたしまして、次回の部会で内容を決定することとしました。

現時点での掲載内容についてです。1面は提案事業3つのうちの1つ。「地域カルテ」から始めるまちづくり“次の一歩”ワークショップ研修会についての記事を掲載いたします。2面、3面は15、16日に行われました講演会の報告。10月21日に行われますアートフェスティバルについてのご報告を行います。あと公募委員の募集も行います。4面は恒例のクロスワードパズル、うちのコミ協、とっておきの私の一枚などを掲載予定でございます。

次回の開催日程につきましては、記載のとおりでございます。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。毎回いろんな構成に努力しておるということ、私は感謝しております。ただいまの報告について、ご意見、ご質問等がございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

なければプロジェクトチーム2の報告をお願いいたします。

(渡邊委員)

プロジェクトチーム2の報告をさせていただきます。第6回の会議は9月6日に行われまして、会場、出席者については記載のとおりでございます。主な議事といたしましては、チラシ、ポスター等の広報につきましてでございます。広報日程について確認をいたしました。あと当日配布するプログラムの構成イメージ等についても検討をいたしました。なお、本日皆さまのお手元にチラシを配布させていただいております。

2番目にアンケート内容の確認を行いました。当日会場にて配布する来場者アンケートを最終確認をいたしました。3番目に当日運営についてでございます。当日、10月21日ですけれども、運営の役割分担について、昨年度の担当を手本といたしまして、事務局で決定することといたしました。またPT2の部会員以外のスタッフにつきましては、本日募集するというので、皆さまのお手元に依頼文、お願いの紙が配布されております。よろしくお願いをしたいと思います。

4番目に、アール・ブリュットの作品についてでございますが、展示作品数について協議をいたしまして、これにつきましては、部会長と事務局で最終決定をすることといたしました。

今回の会議については記載のとおりでございます。以上でございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただいまのPT2の報告について、ご意見、ご質問がありませんでしょうか。今回のこの内容を見ますと、いろんな方々が出ておられまして、本当によく集めていただいたなと思っております。伝統芸能、各中学校の吹奏楽、また特別出演。最後に越乃リュウさんが今回初めて出ていただける。こういうことで期待はしております。そういう意味ではもう何と言いますか、アートフェスティバルは、新潟市に誇れるものとして私は思っておりますので、皆さま方のご協力をお願いいたします。併せて、今回の協力者が若干少ないとのことなので、事務局説明をお願いします。

(事務局)

アートフェスティバルへのご協力についてということで、依頼文書のほうを事前に配布させていただきました。ありがとうございました。ご協力いただける方については、スタッフ参加申込書のほうを事務局へ提出をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

(岩協会長)

ありがとうございました。今回吹奏楽の方々が多いので、楽屋とか相当人手がいるんですよね。そういうことですよ。

(事務局)

はい。

(岩協会長)

ということで、ご協力のほうをお願いいたします。それではご意見、ご質問等がございませんでしょうか。

## < 2 議事 (2) 平成 31 年度特色ある区づくり事業 事務局案について >

(岩協会長)

なければ次の議題に移りたいと思います。それでは部会報告終わりました、議題の2、平成 31 年度特色ある区づくり事業 事務局案ということでございます。事務局案については地域課の堀課長からご説明をお願いいたします。

(堀地域課長)

地域課、堀でございます。よろしく願いいたします。私から平成 31 年度の西区特色ある区づくり事業について、説明をさせていただきます。ちょっと長くなりますが、お聞きくだ

さい。座って説明させていただきます。

まずお手元の資料、A3横の資料2「委員アイデア・ご意見及び担当課の考え方一覧」をご覧ください。A3横の資料でございます。1-1新規事業に対するアイデアから始まりまして、両面印刷になっております。4ページ立てになっております。去る7月の本会で、表の一番左の「整理番号」から、ずーっと右まで来て「担当課」の欄まで入ったものを資料としていったんお示ししておりますが、本日の資料は、一番右、担当課及び担当部会を確定いたしまして、「担当課の考え方」を記載させていただいたものとなっております。後ほど担当する課長より順次内容の説明をさせていただきますが、中身についての具体的な審議は、来月10月の各部会で行っていただきますので、よろしく願いいたします。

資料2、今の資料につきましては、また後で戻ってまいります。いったんここまでとさせていただきます。続きまして、A3縦の資料3「平成31年度 特色ある区づくり事業 事務局案」をご覧ください。

こちらは私ども区役所が主体となり実施いたします区役所企画事業につきましてまとめたものでございます。表の左から「整理番号」「区ビジョンにおける目指す区のすがた」「事業名」と「事業内容」「事業費」「新規・継続の区分」そして「事業の開始年度」「担当課」最後に「関連部会」を記載しております。

事業は全部で13事業でございます。3年の経過により見直しなどを行いながら、新規事業8つ、継続事業5つを挙げてございます。また、各事業は、区ビジョンまちづくり計画に掲げております「目指す区のすがた」ごとに構成・分類しております。これから説明いたします区役所企画事業も、来月10月の各部会で実質的な審議を行っていただきますので、本日は、私から各事業の概要のみ簡単に説明をさせていただきます。

まず一番目でございます。事業名「西区健活チャレンジ事業（西区健康活き活きチャレンジ事業）」でございます。区民の健康寿命延伸を目的に行う健康教育事業で、子どもから高齢者まで区民の皆さまがいつまでも元気で、健康的な生活を推進できるよう支援を行うものでございます。

①の地域健康リーダー育成講座から、⑥の高齢者体操サポート事業まで、記載の事業に取り組んでまいります。事業費は190万円を予定してございます。なお、以下、事業費は記載のとおりですので、読み上げは省略させていただきます。

続きまして、No2「支え合いのまちづくり支援事業」です。支え合いのしくみづくりを進めるために、啓発講座の実施やパンフレットの作成のほか、地域の茶の間の支援、高齢者の孤立防止、認知症サポーター養成講座などに取り組みまして、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていただくことができるよう、さまざまな支援を行ってまいります。

資料裏面に移っていただきまして、No3「西区子育て応援事業」でございます。子育てに関します情報発信など、各種のプログラムを実施いたしまして、不安や孤独感の軽減、あるいは仲間づくりの支援を行ってまいります。また、西区内の子育て支援関係者同士の交流や、ネットワークの充実を図ってまいります。

続きまして、No4「西区安心安全な地域づくり推進事業」でございます。地域防災力強

化のため、地域の避難マップ作成や自主防災組織の訓練など、地域の自主的な取り組みを推進していくほか、新しい取り組みといたしまして、高齢ドライバーの方にドライブレコーダーの貸出しをし、記録された映像をもとに安全運転指導を実施していこうというものでございます。

次に、区ビジョンの分類は「都市と農村が融合するまち」になります、No5「西区特産農産物 魅力発信・ブランディング事業」でございます。西区の農産物の魅力を県内外に発信し、知名度向上、消費拡大などを推進してまいります。また、「くろさき茶豆」を活用いたしまして商店街や地域の活性化を目指すほか、「いもジェンヌ」の高付加価値化に引き続き取り組んでまいります。

3ページに移っていただきまして、No6「西区農地再生サポート事業」でございます。耕作放棄地が課題となっておりますが、その解消に向けまして、西区農業振興協議会が実施いたします耕作放棄地対策の取り組みを引き続き支援してまいります。

次のNo7「食と農」体験プログラム実施事業」でございます。小学生への食育と地場農産物の消費拡大を推進する取り組みといたしまして、区内小学校との連携や、区民の皆さま、市民の皆さまを対象とした農業体験事業に取り組んでいきます。

次に区ビジョンの分類、「だれもが学び合える学術と文化のまち」になります、No8「西区スポーツ健康プロジェクト」でございます。区民の皆さまのスポーツや運動を推進し、交流の場を創出するため、かけっこ教室以下、記載の事業に取り組ましまして、健康づくりや介護予防、生きがいくくり、そして健康寿命の延伸などにつなげてまいります。

資料裏面に移っていただきます。区ビジョン「豊かな自然と快適な住環境を大切にすまち」になります、No9「未来につなぐきれいなまちづくり事業」です。ゴミのない、きれいなまちづくりを推進するため、各団体と連携をいたしまして、西区一斉クリーンデーをはじめといたします環境美化活動に取り組んでまいります。ポスターコンクールや環境サミットなど、小学生が環境について学ぶ機会を充実させ、子どもたちの環境保全への関心と意識を育んでまいります。

続きまして、No10「げんきな保安林づくり」です。海岸保安林の保全・育成のため、ゴミ拾いや草刈、植樹など環境整備を進めるとともに、防風・防砂・塩害被害を抑制し、近隣住民の生活を守りながら、市民の憩いの場としての活用も目指していきます。

次に、No11「西区を堪能 まち歩き・観光ツアー」です。赤塚、黒埼、内野など、区内に点在いたします魅力ある自然景観あるいは史跡で観光コースを企画いたしまして、まち歩きや観光ツアーを実施し、交流人口の拡大を図ります。特産農産物の収穫体験など、体験メニューなども取り入れながら、さらなる誘客を推進してまいります。

最後のページに移っていただきまして、区ビジョンは「地域と区役所が共に歩むまち」になります、No12、仮称ですが「西区 PR 事業」でございます。人口減少を踏まえまして、学生の定住を促進するために、大学生を対象にOBやOGさんとの交流会や西区の魅力発信を行うとともに、元タカラジェンヌの越乃リュウさんに引き続き「西区かがやき大使」をお願いいたしまして、区の魅力発信に取り組んでまいります。



最後でございます。No13「出動！西区地域盛り上げ隊（中学生みらいデザイン編）」でございます。次代を担う子どもたちから、地域に関心を持ってもらうために、地域の課題解決の方法を考えるワークショップを2つの中学校区で開催いたします。家族など、身近な大人と話し合ってもらえる機会にもなると考えております。

以上でございますが、これら区役所企画事業は、意見反映型の組立てとなりますので、事業内容につきまして、繰り返しになりますが、来月10月の各部会で皆さまからご意見をいただき、各部会の審議結果を踏まえまして、自治協議会としてのご意見を10月のこの場、本会でとりまとめでいただきたいと思いますと思っております。皆さまから頂戴いたしますご意見を受けまして、各事業担当課でさらに検討を行いまして、事業内容を固めてまいります。

特色ある区づくり事業のもう一方、自治協提案事業につきましては、10月と11月の各部会で同じように検討を深めていただきまして、11月の本会で予算原案の決定ができますようご審議をいただきたいと思いますと思っております。

それでは恐れ入ります。A3横の先ほどの資料2に戻っていただきまして、委員の皆さまから頂戴しましたアイデアやご意見に対する担当課の考え方を説明いたします。

左上はじめに1-1新規事業・アイデアの整理番号1番です。坂井委員からいただいております「支え合いの仕組みづくりについて」健康福祉課と地域課から説明をさせていただきます。以下担当課長が順次説明いたします。なお、一番右側の「担当課の考え方」以外の左側の部分は、前にもご覧いただいている資料でございますので、読み上げは表題程度とさせていただきますと思います。

それでは、健康福祉課長からお願いします。

（渡部健康福祉課長）

健康福祉課、渡部です。よろしくお願いたします。では、整理番号1番、坂井委員から頂戴いたしました地域課題、「支え合いのしくみづくりについて」でございます。これで私どもの考え方でございますが、西区では昨年度、全てのコミュニティ協議会の区政懇談会の場で、生活支援サービスや、地域の茶の間の事業内容をはじめ、取組事例を紹介したほか、地域の茶の間交流会を2回開催いたしまして、必要性や取組などの情報交換を行い、支え合いのしくみづくりの理解の促進と取り組みを進めてまいりました。

また西区内の4つの日常生活圏域ごとに設置をしております「支え合いのしくみづくり推進員」が地域の社会資源の把握や、地域課題の抽出をはじめ、自治会やコミュニティ協議会などの会合に参加させていただくなど、4圏域で計162回、啓発等の取り組みを行ってまいりました。こうした取り組みを通しまして、地域の皆さまのご理解とご協力により、昨年度では地域の茶の間の新規開設が10カ所、週1回開催への拡充が6カ所の実績につながりまして、支え合いのしくみづくりの必要性と取り組みは、着実に地域に広まってきているものと考えております。

今年度におきましても、引き続き区政懇談会の場でのご説明、ご紹介に加えまして、今後は研修会や交流会のほか、茶の間の学校の開催も予定しておりまして、さらなる必要性

の理解と取り組みを進めてまいります。さらに来年度は、研修会や交流会を実施するほか、支え合い活動の先行団体の事例紹介などを盛り込んだパンフレットの作成や、視察研修の実施を検討しております。

西区としましても、委員がおっしゃられますとおり、支え合いのしくみづくりの取り組みは、地域に根差した単位で進めていくことが重要であると考えておりまして、これまでコミュニティ協議会や、自治会等の皆さまを対象として、理解の促進や支援を行ってきております。今後も引き続き、コミュニティ協議会や自治会単位など、身近な地域での実施につながるよう、区や支え合いのしくみづくり推進員が地域の課題解決のお手伝いや、取組のさらなる拡大に向けて取り組んでいきます。私からは以上です。

(堀地域課長)

引き続き地域課でございます。地域の担い手育成の部分でございます。自治会やコミュニティ協議会の担い手不足の声は、区政懇談会をはじめといたしまして、さまざまな場面で地域課題としてお声をお寄せいただいております。もちろん西区だけではなく、全市的、全国的な課題となっております。私ども区といたしましても、区ビジョン、まちづくり計画の中で、コミュニティ活動に参画する人材の育成を掲げまして、さまざまな取り組みを進めております。資料に例として挙げております区づくり事業「西区地域盛り上げ隊」は、これは昨年度から始めたものでございまして、昨年度は赤塚中学校、今年度は黒崎中と内野中で取り組んでおります。中学生が地域課題の解決方法を考えまして、親世代、あるいは地域の方々と一緒に話し合っただくことで、幅広い世代から地域に関心を持ってもらう取り組みでございます。その地域盛り上げ隊や、また西区のまちづくり講演会におきましても、次世代の地域活動への参加をテーマに取り上げております。

そのほか転入者の皆さまに、区だよりの自治会特集号を配布するなどいたしまして、自治会活動の理解促進と、加入促進にも努めているところでございます。

こうした私ども区の取り組みに加えまして、地域と行政の協働の要であります自治協の皆さまのお力をいただきながら、協働で実施したほうがより効果的と考えているところもございまして、自治協提案事業の検討の中で、一緒にこの部分を検討させていただければと考えております。以上でございます。

(鈴木農政商工課長)

農政商工課でございます。整理番号2番、提案委員、坂井委員、地域課題、西区産業振興会議の設立でございます。われわれの考え方としましては、新潟市では市全体の産業活性化を図るため、関係団体の皆さまと意見交換をして「新潟市中小企業・小規模事業者活性化プラン」というものを定め、「にいがた未来ビジョン」及び「区ビジョン」、に基づいた施策を展開しております。

また経済部では、中小企業振興基本条例 第15条で「関係者との協働」というものがございまして、そこで商工会議所、商工会、新潟県中小企業同友会などの団体と意見交換を行

って、産業振興の推進を図っているところでございます。

その上で西区としましては、区特有の課題、区の状況等を加味しながら、商工会やJAなどの関係者といくつか協議会、例えば「いもジェンヌ」というサツマイモの活用のために、農商工連携協議会というものを、JA、西商工会、赤塚商工会と組んでおります。また「くろさき茶豆」につきましては、黒埼商工会とまたJAで「くろさき茶豆 夏の陣」実行委員会というものを組みまして、地域の活性化を進めているところでございます。

先ほどの区づくり事業の中でも、西区特産農産物魅力発信ブランド事業ということで、地域の特徴を生かして地域を盛り上げていくと、このような動きは区としても進めていくところでございますので、今後また新たなテーマ等出て来たら、地元の方と一緒に考えていきたいと思っております。以上です。

(五十嵐区民生活課長)

続きまして、整理番号3番、西区一斉クリーンデーに防犯意識を呼びかけるということでございます。担当課の考え方にご提案のあった西区一斉クリーンデーについては、防犯など、安心、安全の観点から行うというのは、お父さん、お母さんが西区一斉クリーンデーに参加する中で、親子で参加していただくきっかけにもなると考えております。非常に前向きな取り組みになると思いますので、担当課のところで書かれているとおり、自治会に今回覧しておりますパンフレット、チラシになりますが、そのチラシの裏面を利用して、防犯と、安心、安全の啓発に活用できるように準備を進めていければなと考えております。ただなお、啓発品などの配布のご提案がございましたが、既にコミ協、また自治会、PTA、交通安全協会が配布し、啓発品などの配布の取り組みを進めているところもございますので、今の段階ではクリーンデーに併せての配布は考えておりません。まずはクリーンデーのチラシの裏面などを有効活用して、そこから始めていければなと思っております。以上でございます。

(渡部健康福祉課長)

続きまして、整理番号の4番、佐野委員からのご提案の、地域の支え合いのしくみづくり「除雪編」&健康スポーツプロジェクト「スポーツ雪かき」の薦めという地域課題でございます。私ども健康福祉課の考え方といたしましては、西区でも昨年度のように大雪が降る年もありますため、区民の方々が雪かきによって、腰痛やひざ痛などを引き起こすことがないように、その取り組みは大切でありますため、今後冬場の西チャレなどの健康づくり講座などで、ストレッチや筋トレなどの内容充実を検討してまいりたいと考えております。

(堀地域課長)

引き続き地域課でございます。雪かきをスポーツという視点で捉えまして、冬場の健康づくりとしての側面からアプローチをするということは、非常に斬新で逆転の発想で面白

いアイデアだなど思っております。実際に降雪量の多い地域、北海道の小樽になりますが、「国際スポーツ雪かき選手権」といったイベントも行われていると伺っております。来たる冬に向けまして、除雪のあり方の検討、これは各方面から検討を進めていかなければいけないわけですが、除雪のあり方の検討を進めていく中で、例えば提案事業の活用を含めまして、これも自治協の皆さまと議論を深めさせていただければなど考えております。以上でございます。

(真田総務課長)

整理番号5番、総務課になります。特殊詐欺被害の防止に関してなんですけれども、特殊詐欺被害の防止というのは、本当に非常に大切なことだと思っております。先般の講演会の中でも、今こういうことが起こっているという話を、皆さんすごく熱心に聞いていただいたと思います。そういった際にやはり啓発品の配布や、機器の貸与になりますと、どうしても対象者を限定してしまうということがございますので、より幅広く、なるべく簡単な方法。電話に出ないとか、留守番電話に設定するとか、あと市販でも今通話録音装置を売っておりますので、そういったものがありますよというようなことを、繰り返し周知する呼びかけを徹底することが有効だと考えております。

今現在なのでなんですけれども、区役所のほうで区だより以外にも防犯用に「安心安全ニュース」というのを作成させていただきまして、自治会を通じて全戸回覧というのをやっております。地域に防犯情報をお届けするという取り組みを、また今後も続けていきたいと思っております。

またご提案のとおり、広報紙の活用という部分になりますが、区だよりでもこれまでも特集を組んでやっておりますが、これからもまた特集を組むなど、重点的な啓発に努めて、引き続き、ご提案の連載なども含めまして、より効果的な紙面作成をして、繰り返し、繰り返し周知していくことをやっていきたいと考えております。

(渡部健康福祉課)

続きまして1-2、新規事業のご意見ということでの整理番号1番、坂井委員からのご意見です。介護保険から新潟市の総合事業への移行後の検証ということでご意見をいただいております。こちらにつきましては、総合事業も含めました介護保険制度につきましては、全市的な制度でありますことから、福祉部が所管をいたします「介護保険事業等運営委員会」において、給付実績等の報告や新潟市地域包括ケア、地域包括ケア計画（高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画）、の進捗管理を行っております。いただいたご意見、内容につきましては、本庁担当課にお伝えをいたしますが、資料提供の必要性などにつきましては、西区自治協議会において、ご検討をいただければと思いますので、お願いいたします。

(渡部健康福祉課長)

4 ページ目、一番裏ですかね。今度は 2 - 1 といたしまして、既存事業の区企画事業のご意見としまして、整理番号の 1 番です。坂井委員からいただいているご意見でございます。支え合いのしくみづくりの周知についてということでございます。私ども健康福祉課の考え方ですが、区だよりや区政懇談会の場を活用しました理解の促進、支え合いのしくみづくりの推進員の自治会等への訪問、支援、さらには地域の皆さまのご理解とご協力により、支え合いのしくみづくりの必要性は着実に広まり、地域の茶の間の開設、拡充につながっていると考えております。

しかし、一方で地域では委員のご意見のとおり、そもそも支え合いのしくみづくりとは何か。実施に向けた検討手法、担い手の発掘等が課題との意見もお聞きしております。西区では今年度自治会などの皆さまを対象といたしまして、先進事例の紹介や地域での検討手法、新たな担い手の発掘などの課題解決に向けた「支え合いのしくみづくり研修会」や「茶の間の交流会」のほか、「茶の間の学校」の開催も予定しております。さらに来年度は研修会や交流会を実施するほか、支え合い活動の先行団体の事例紹介などを盛り込んだパンフレットの作成や視察研修の実施を検討しております。こうした取り組みによりまして、周知と理解の促進を着実に進めてまいりまして、地域での支え合いのしくみづくりにつながるよう、支援をしていきたいと思っております。なお、皆さまからも機会を捉えまして、支え合いのしくみづくりの必要性につきましてご周知いただきますよう、引き続きご協力をお願いしたいと思います。以上でございます。

(堀地域課長)

次に 2 - 2、自治協提案事業に対するご意見でございます。整理番号 1、坂井委員からいただきました「西区特産物・観光地カレンダー」の継続についてでございます。このカレンダーは今年度も作成を進めておりまして、10月21日のアートフェスティバルを皮切りにお配りをさせていただくことにしておりますけれども、このカレンダーの作成、配布は、委員の皆さまのご努力、ご協力や、4年間継続してきたことによりまして、当初の目的としておりました西区の特産物や観光地などの紹介は一定程度できているものと考えております。引き続きこの事業を継続するかどうかにつきましては、自治協議会の皆さまで、部会でご議論をぜひお願いしたいと考えております。以上でございます。

(鈴木農政商工課長)

続きまして農政商工課です。整理番号 2 番、坂井委員から、商店街活性化の研究・実践事業継続・発展でございます。西区では平成 26 年度に内野町及び黒埼地域を区域指定した拠点商業活性化推進事業計画を策定しております。具体的な取り組みとして、各地域のまつり、先ほども説明しました茶豆やいもジェンヌの活用など、商工会や J A などの関係者と一体となって進めているところでございます。さらに最近では学生も入ってくださったワーキングチームというものが内野及び黒埼で毎月 1 回は集まっている所に、西区農政商

工課の職員も一緒に参加しているところがございます。そこではいくつかの活動が芽生えてきているというところなんです。このように商店街の活性化も、地元の方が中心となって元気にしていこうという取り組みをまず考えていただくことが必要と考えています。当然区役所としましても、そのようなさまざまな人たちと一緒にあって議論をして商店街を元気にするという取り組みが進みますよう、引き続き支援をしていくとともに、必要な事業等があれば、一緒になって考えていきたいと思っております。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。各事業の詳細については、ただいま説明があったとおりでございます。この内容につきましては、今後の部会で説明がありますので、ご質問等はその際をお願いいたします。今後の進め方や、どうしても今お聞きしたいことなど、ご質問がございましたら、お願いいたしますと思います。

(坂井委員)

確認で、特色ある区づくり事業事務局案の縦の資料で、事業費が合計 2,700 万でありますから、今までのように自治協提案事業で 500 万円が充てられるということで理解しているのでしょうか。

(堀地域課長)

地域課、堀でございます。これにつきましては、何回か説明させていただいておりますが、今年度から予算の垣根をなくしまして、自治協提案事業、それから区役所企画事業のトータルとして 3,200 万円とご説明させていただいております。ただ今年度初めての取り組みでございますので、ひとまず自治協提案事業のほうには 500 万円という形で、今ご説明させていただいている区役所企画事業は 2,700 万と、坂井委員がおっしゃるように分けしてございます。今年度からその垣根は取っ払っておりますので、予算はまだ行き来が可能と考えております。

< 3 その他 >

(岩協会長)

よろしいですね。ありがとうございました。詳細については、また各部会等々でご質問、ご意見等がありましたら、ご意見を賜りたいということでございます。

それではその他でございます。次第の最後でございます。まず私から一つ皆さま方にお伝えすることがございます。推薦会議の委員の選出方法についてでございます。それでは事務局、説明お願いいたします。

(堀地域課長)

地域課、堀でございます。この自治協議会でございますが、来年度 2 年に 1 回の委員の

改選の次期に当たります。今日お集まりの方々の中で今期限りの方、あるいは来期も継続して委員をお願いする方がいらっしゃるかもしれませんが、委員の改選に当たりましては、自治協議会の委員構成の検討ですとか、あるいは公募委員の方の選考などを行っていただきます委員推薦会議というものを立ち上げることとなっております。その会議には、皆さまの中から 10 名、代表して委員になっていただきまして会議を構成するものでございます。この推薦会議の構成員は要項がございまして、この要項上、各号の委員区分から一定の人数を選出することとなっております。

具体的にはコミ協選出の 1 号委員から 6 人、2 号委員、3 号委員、4 号委員、5 号委員、それぞれの 4 つの区分からそれぞれお一人ずつ。1 号委員から 6 人、それ以外から 1 人ずつということで、計 10 人。その 10 人の方が推薦会議に参加をしていただくということでございます。この会議は今年の 11 月からスタートいたします。この自治協議会の委員の人数をどうするか。あるいはどういった団体から自治協議会に参加していただくか。先ほど申し上げました公募委員を選考するといった役割など、過去の例を見ますと、月に 11 月から始まりまして、月に 1 回、もしくは 2 回会議にご参加いただきまして、最後年度末になりますが、自治協議会に委員を推薦いただくということでございます。

本日はこの推薦会議の委員の選出方法につきまして、皆さまのご意見をいただきたいと考えております。説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

(岩協会長)

ありがとうございました。ただいま事務局からご説明がありましたが、推薦会議の委員を選出しなければならないということでございます。前期の推薦会議委員の選出方法は、本会終了後、各号委員に分かれて集まり、それぞれ話し合っ選出いただきましたが、今回は、事務局から推薦いただくのも方法の一つかと思います。事務局から推薦会議委員を推薦いただき、次回本会で、皆さまから承認いただきたいと思いますが、いかがいたしましょうか。

<異議なしの声>

(岩協会長)

よろしいですか。ご異論、または私になりたいと立候補するのも一つの手かと思いますが、今、異議なしという言葉がありました。それでは皆さま方からご承認をいただいたということで、決めたいと思います。それでは事務局は準備をお願いいたします。

(堀地域課長)

今、会長からお話がありましたけれども、ぜひやりたいと、立候補したいという方がいらっしゃるかもしれませんが、10 月 4 日までに事務局までご連絡をいただきたいと思っております。以上です。よろしくお願いたします。

(坂井委員)

私やりたいです。

(岩協会長)

お一人。

(堀地域課長)

承りました。

(岩協会長)

承りました。ありがとうございます。ほかに、私が推薦委員になりたい、こういう方おられましたら。10月4日までに事務局の地域課にお願いしたいと思います。よろしいですね。

続きまして、委員研修のご案内でございます。11月21日開催の自治協議会委員全体研修会でございます。本日皆さまへご案内が配布されております。「区自治協議会委員研修会の開催について」をご覧くださいと思います。これでございます。タイトルは今私が言った委員研修の開催ということでございます。よろしいですか。

それでは本年は11月21日、水曜日、午後2時から秋葉区文化会館で行います。各区の会長などが、区自治協議会の取組みなどを発表し、意見交換会を行います。皆さまから各区の取組みを知ってもらうことで、今後の区自治協議会の活動や、それぞれの立場で行っている地域活動等に生かしていただきたいと思います。ぜひ多くの方よりご参加いただきたいと思っております。

なお、研修会終了後、毎年でございますけど、西区の委員の有志の皆さん方で意見交換会をやったらどうか、こういう話がありましたので、終了後、反省会を込めて開催を予定しております。こちらもぜひご検討いただければと思います。出欠につきましては、皆さん方に配布した資料の中に出欠確認票がございます。10月26日の本会までに事務局へ出欠確認票の提出をお願いいたします。

次に、西区の自治協議会委員研修会でございます。第2部会でもお話がありました「支え合いのしくみづくり研修会」、これは西社協の下でございます。日時は9月29日、土曜日、午後2時から4時まで。会場は黒崎市民会館でございます。出席される方は、お時間までにおいでください。受付は午後1時半からでございます。

もし出席されるという方がいらっしゃいましたら、事前に地域課にご一報いただければありがたいと思います。

最後ですけれども、区自治協議会の研修会でございます。私ども当西区でも、今考えておりますのは、先般行われました地域カルテ、人口減少等々の地域の課題の発掘ということで、1回、2回、ワークショップを行いました。その結果、西蒲の職員ですかね。いろんな方々が参加にされ、私が聞いた範囲では、8区で初めて交流、地域課題、人口減少に



取り組む課題をみんなで情報を共有して意見を出し合ったワークショップは初めてでございます。ということで、私としても、これは今後の地域課題の大きなテーマでございますので、これを西区として発表いたしたいと、こういうふうに私個人として考えております。またこれらについては追って、詳細については皆さん方に第2部会及び本会の承認を得た中でやりたいと思っております。所管は第2部会でございますので、その調整等々も含めて、次の本会に最終的な報告をいたしたいと思っております。私からの報告でございます。

それではこの件について、何か質問等はございますでしょうか。それとも私ども西区で、そのほかにこういう課題解決に向けて、自治協提案事業でやって、こっちのほうの方がより生活に密着しているということがあれば、皆さん方からご意見を聞いて、地域課も併せて検討いたしたいと思っております。私の自案でございますので、その辺誤解しないようお願いいたしたいと思っております。

何か質問、ご意見等がございませんでしょうか。よろしいですか。

それでは委員の皆さまからお知らせ、及び事務局からのご連絡はございませんでしょうか。

(寺瀬委員)

講演会のお知らせです。お手元に神津カンナさんの特別講演会のチラシが届いているかと思っております。西内野のコミセンのホールで開催です。10月25日、平日、1時15分から2時40分までということで、開催を計画しております。コミュニティ協議会が主催ということではないんですけれども、共催という形ですが、コミセンを使うということで、皆様にもご案内をしている次第です。お時間がございましたら、どうぞご参加ください。よろしくお願いいたします。

(岩協会長)

これは西内野のコミ協で共催ということでございます。ご都合の付く方はご参加していただきたいと思っております。

それとあとは中原邸の秋の一般公開と、新米・大根・ねぎの収穫祭、10月6日ということでございます。それで私からちょっとお尋ねですけれども、メイワサンピアが廃止されたので来年の予定を教えてください。担当課お願いいたします。

(鈴木農政商工課長)

農政商工課です。10月6日はチラシのとおり、今厳密には旧と言ったほうがいいのかもしれませんけれども、メイワサンピアで行います。来年以降については、なるべくここで開催できるように交渉を今後していく予定と、今の段階ではそういう状況でございます。以上です。

(岩協会長)

ありがとうございました。ほかに何かご報告。

(佐藤地域課課長補佐)

それでは事務局から、次回会議の開催日についてご連絡をさせていただきます。お手元の平成30年度西区自治協議会開催予定、A4の資料をご覧ください。次回第7回自治協議会ですが、当初10月30日火曜日の予定でしたが、大変申し訳ございません。都合により、10月26日、金曜日に変更させていただくこととなりました。時間は午後3時からになります。会場はこちら西区役所健康センター棟、3階の大会議室となります。申し訳ございませんが、よろしくお願いたします。会議の議題等、詳細につきましては、運営会議と調整させていただき、改めて皆さまへご案内をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

続きまして事務連絡でございます。今ほどお話がありましたが、西区大農業まつり、新米・大根・ねぎの収穫祭のお知らせです。お手元にチラシを入れさせていただいております。10月6日、土曜日、午前10時から午後1時まで、メイワサンピアの駐車場にて開催いたします。砂付き大根の販売やガラポン抽選会などが予定されておりますので、多くの方よりお楽しみいただければと思っておりますので、よろしくお願いたします。

次にこちらもちチラシを入れさせていただいております。中原邸・秋の一般公開のご案内です。10月6日の土曜日、7日の日曜日に中原邸・秋の一般公開を行います。さまざまな催し物がありますので、ぜひ多くの方よりお越しいただければと思っております。

最後になります。こちらもちチラシが入っております。「西区アートキャラバン IN 佐潟」のご案内です。10月6日の土曜日、7日の日曜日の中原邸・秋の一般公開に合わせて開催いたします。新潟大学の学生や赤塚小学校の児童が、地元の自然素材などで作成した作品が地域を彩りますので、ぜひ足をお運びください。そのほかにつきましては、広報紙でございますので、後ほどご覧いただければと思っております。事務局からは以上でございます。

(岩協会長)

ありがとうございました。ほかに何か委員の皆さん方からご報告、ご連絡等がございましたでしょうか。なければ、それでは平成30年度第6回の西区自治協議会を閉会いたします。ありがとうございました。

(終了)